



Villa Malaparte・カプリ島・イタリア

プロジェクトデータ

敷地面積： 413.0㎡ (125.1坪)
建築面積： 62.2㎡ (18.8坪)＝15.1%
延床面積： 112.3㎡ (34.0坪)＝27.1%
パティオ、テラス、吹抜面積：62.7㎡ (19.0坪)
施工床面積：143.6㎡ (43.5坪)
造規模： RC造1層（地下階）+木造2F建て

人と自然

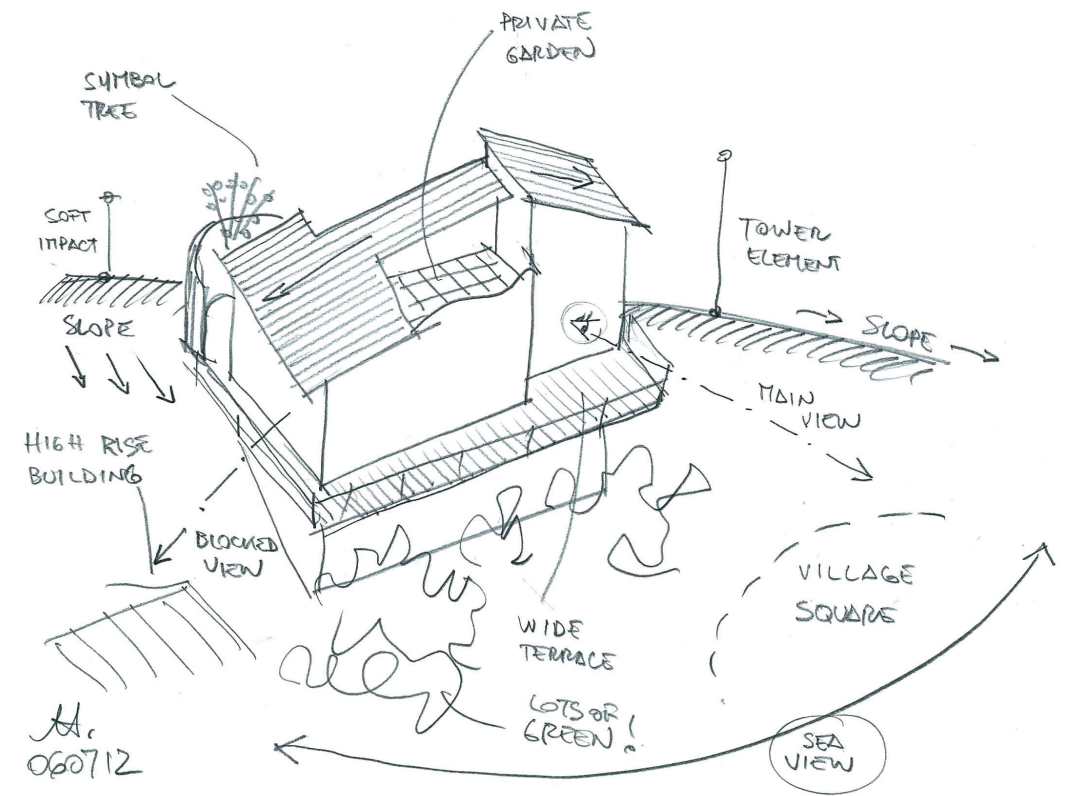
私たちは、自然と関わりを持って暮らすことと、人としての暮らしを確立することの2つの面から、このガーデンハウスを考えました。

庭と生活空間を対等に配分しお互いに向かい合うような関係を作ります。光にあふれる場所に自然を積極的に作り、その営みを絶えず見て触れられるという健康的な生活ができるのです。さらに、建物の間には静かな溪谷のイメージを持った坪庭を配し、ほっとした気持ちにもなれる。日々、自然を大切にケアし、そこから潤いとリズムをもらうことがこのガーデンハウスのコンセプトです。もちろん、社会的な生活にとっては欠かせないプライベートとパブリックの概念もきちんと取り入れて、暮らしやすい空間を構成しています。

デザインイメージ

地中海のカプリ島。断崖の上に建つカサ・マラパルデは、自然を否定せず真摯に向き合っていく、そんな人間のアイデンティティを示しているかのようです。

私たちは、“自然”と“人工”の2つの造形を対比することによって、人間が自然とともに暮らすというライフスタイルを表現しました。そこには造形の対比だけでなく、自然の中に存在するあらゆる2つの対比・・・東と西／山と海／日向と日陰／社会と家族・・・が含まれているのです。



◆天然斜面に平行に家を配置することにより、半地下、1階、2階の全室が海に面しています。

◆斜面を有効に利用し、下から見上げるとタワーのような威圧感が、近づく、ヒューマンスケールな正面玄関が出迎えてくれます。また、様々な角度から見ることで、いろいろな顔を描き出します。

◆アクセントのある窓、広々とした1階テラス、プライベートな屋上など、いろいろな角度から美しい風景を縁取り、飽きることなく、楽しんでいただけます。

キーワード

○ナチュラル（自然素材）

私たちは自然の素材の質感と色彩を大切に考えています。自然素材は、年を経るごとにその表情を豊かにしていきます。自然素材は、多くの緑・本当の自然とあいまって、様々なシチュエーションを豊かに演出してくれます。

○クリーンリネス（分かりやすく使いやすいこと）

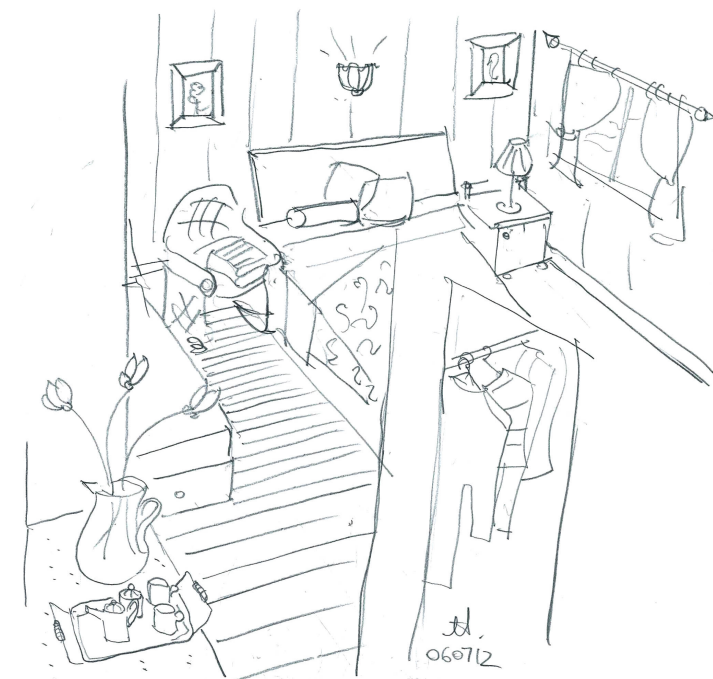
部屋は、使い勝手に従って流れるように並ぶのが使いやすいでしょう。生活のシークエンスがそのまま部屋の配置になっているような住宅が、分かりやすく使いやすいと考えています。収納やサービス空間がしっかりしているべきだと考えます。ウォークイン・クローゼットや、物入れ、ロフト、ユーティリティルーム、などの豊かな収納・サービス空間を設け、本当に必要なスペースが常にすっきりと片付いている状態が、毎日の生活を便利で整然としたものにしてくれます。

○フレキシビリティ（柔軟性）

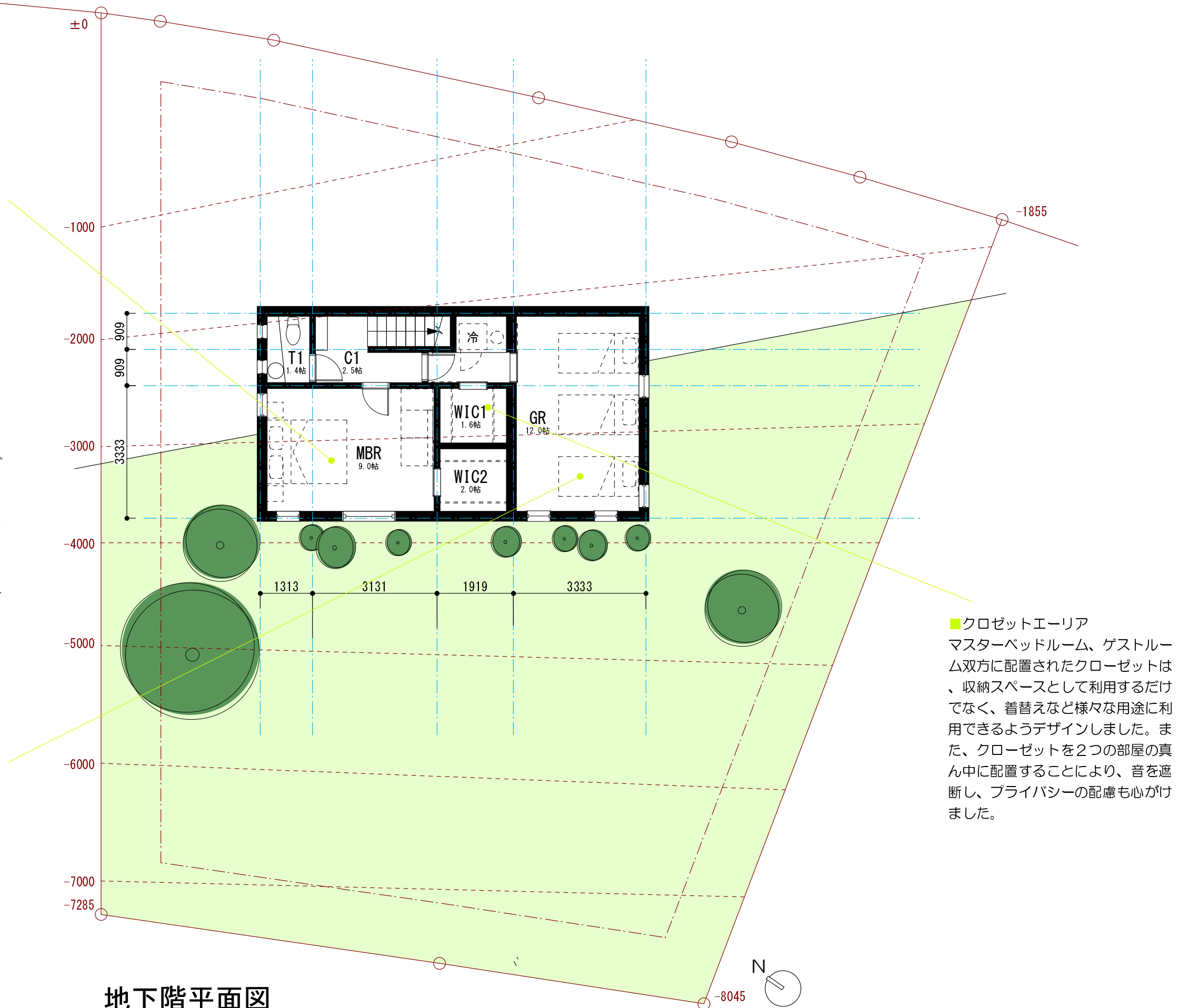
私たちは、将来の家族構成や生活スタイルの変化に対応できる柔軟性の高い住宅を提案します。プライベートスペースとパブリックスペースは、連続した空間により有機的につながります。住み手の生活スタイルの変化に対応して、柔軟に仕切り方を変えられるような空間をつくります。



■主寝室
海側に設置された大小3つの窓に囲まれたこの主寝室では、美しい瀬戸内海をそれぞれのとらえ方で楽しむことができます。窓の外は緑に囲まれ、すばらしい景色を演出します。また、ソファーベッドを設置することにより、人数にも柔軟に対応できます。



■ゲスト ルーム
ゲストルームでは、ゲストにまるでおしゃれなホテルに泊まっているかのような雰囲気を与えるデザインをしました。部屋の入り口に廊下をもうけることにより、雰囲気を与えるだけでなく、プライバシーの保護、そしてスペースをより有効に活用することができます。この部屋には3名様分シングルベッドを設置し、ゲストの用途により、ベッドを組み合わせ使うことも可能です。また、部屋の隅々に設置した4つの窓からは、十分すぎるほどの自然光を取り入れ、気持ちよく過ごしていただけます。



■クロゼットエリア
マスターベッドルーム、ゲストルーム双方に配置されたクロゼットは、収納スペースとして利用するだけでなく、着替えなど様々な用途に利用できるようデザインしました。また、クロゼットを2つの部屋の真ん中に配置することにより、音を遮断し、プライバシーの配慮も心がけました。

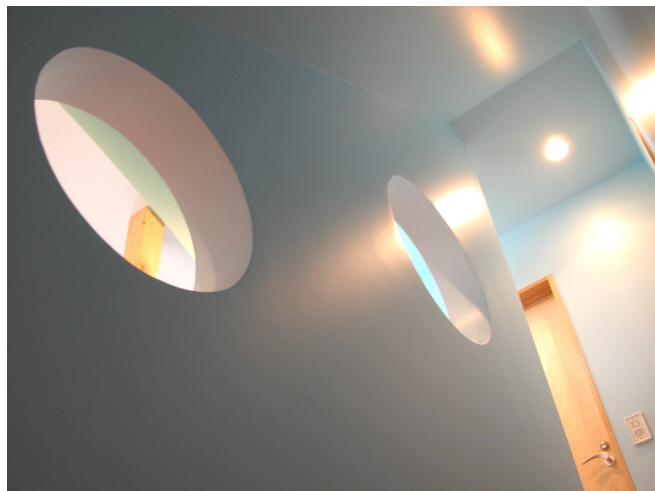
地下階平面図

床面積：49.9 m² (15.1坪)

SC= 1:100

■ギャラリー

様々な角度から入り込む自然光に囲まれたこの玄関は、ギャラリーとしても利用できるようにデザインしました。玄関はゲストを迎えるときのファーストインプレッションを与える、重要な部分ですが、一日に使う回数も限られています。ここに飾り棚を設置することにより、お気に入りのグッズを飾って、よりいっそう楽しい雰囲気を造り上げることができます。

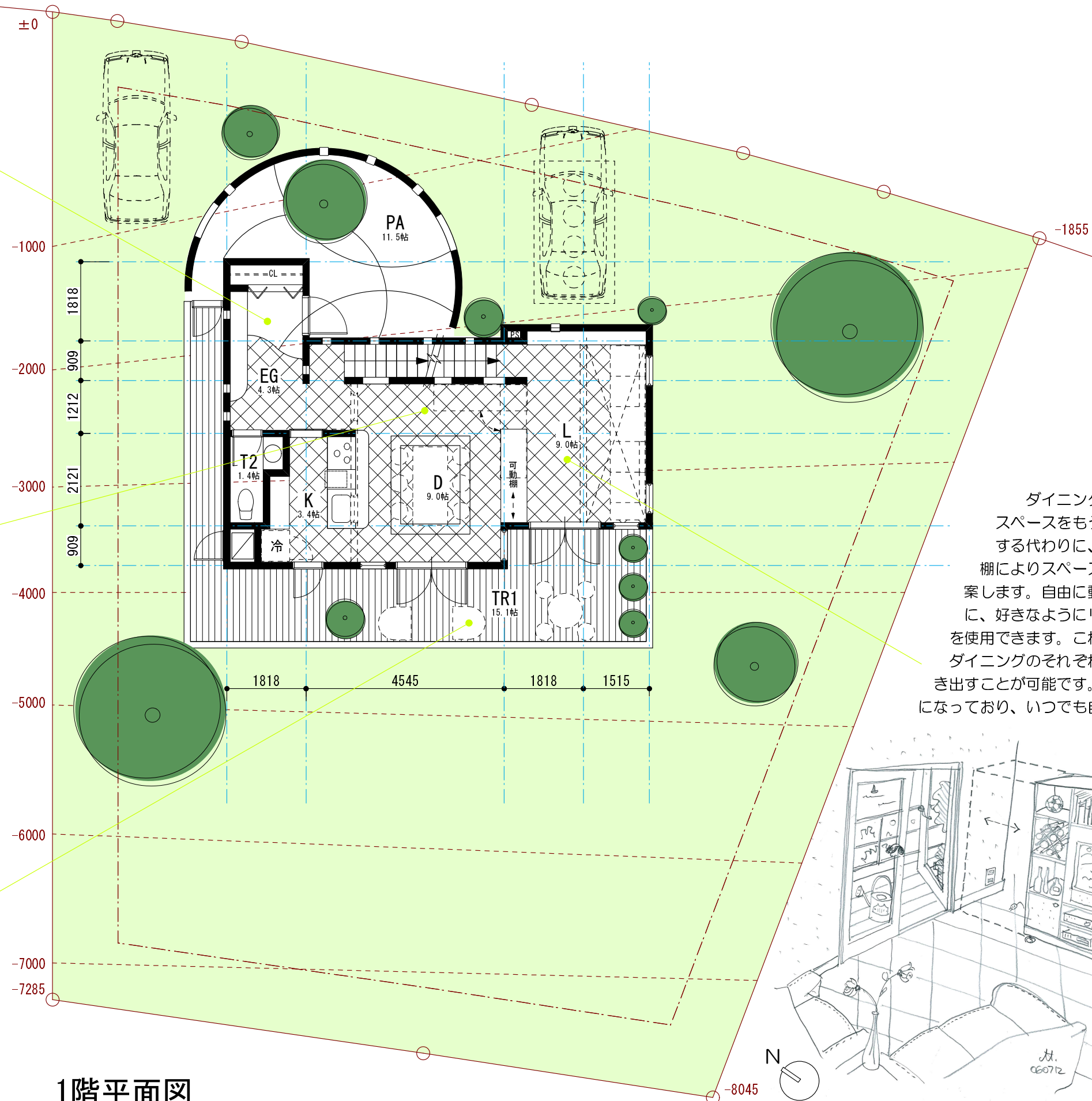


■ダイニング

ダイニングルーム、リビングルームは家族生活の中心であり、家の一番重要な部分だと考えています。ダイニングルームに全開が可能な扉をもうけ、バルコニーへの容易なアクセスを可能にしました。また、キッチンにも専用の扉をつけることにより、ダイニング、キッチン、バルコニーを一つにつなぐことも可能です。階段とリビングを隔てる壁には、穴をあけ、空間をより立体的に表現しようと試みました。

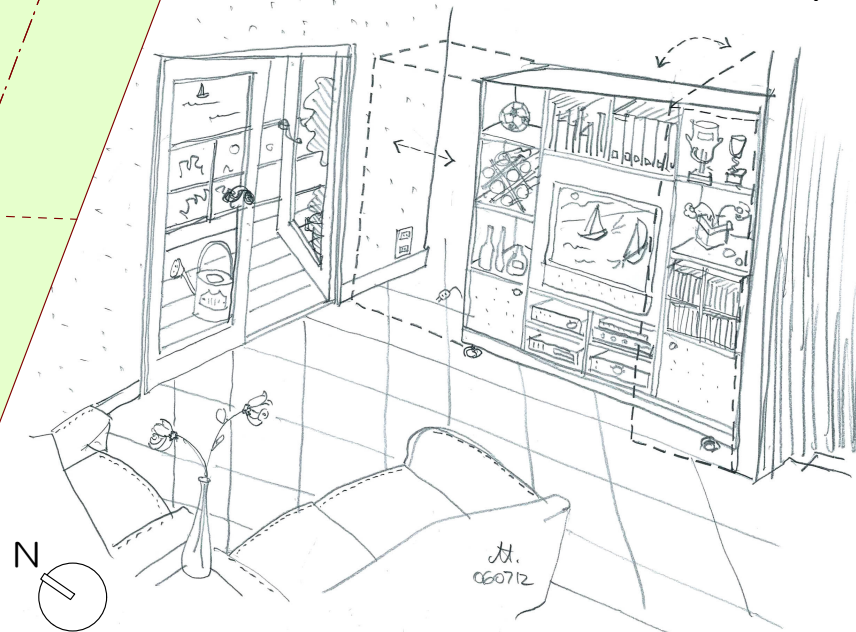
■シーサイド・テラス

リビング、ダイニング、キッチンをつなぐ外部スペースとして、見晴らしの良い場所にテラスがあります。海を目の前に望むこのテラスでは、バーベキューはもちろん、幅広い過ごし方ができる、もう一つの部屋です。リビング、ダイニング、キッチンにそれぞれの扉でつながっており、扉の開け閉めで自由にこの空間をコントロールできます。また、日よけを設置し、日よけ雨よけはもちろん、明るい雰囲気を創り出すこともできます。



■リビング

ダイニングのすぐ隣にリビングスペースをもうけました。壁を設置する代わりに、キャスターのついた棚によりスペースを分割することを提案します。自由に動くので、好きなときに、好きなようにリビングとダイニングを使用できます。これにより、リビングとダイニングのそれぞれの機能を最大限に引き出すことが可能です。リビングは吹き抜けになっており、いつでも自然光と美しい景色に満たされています。



1階平面図

床面積：51.2 m² (15.5坪)

SC= 1:100

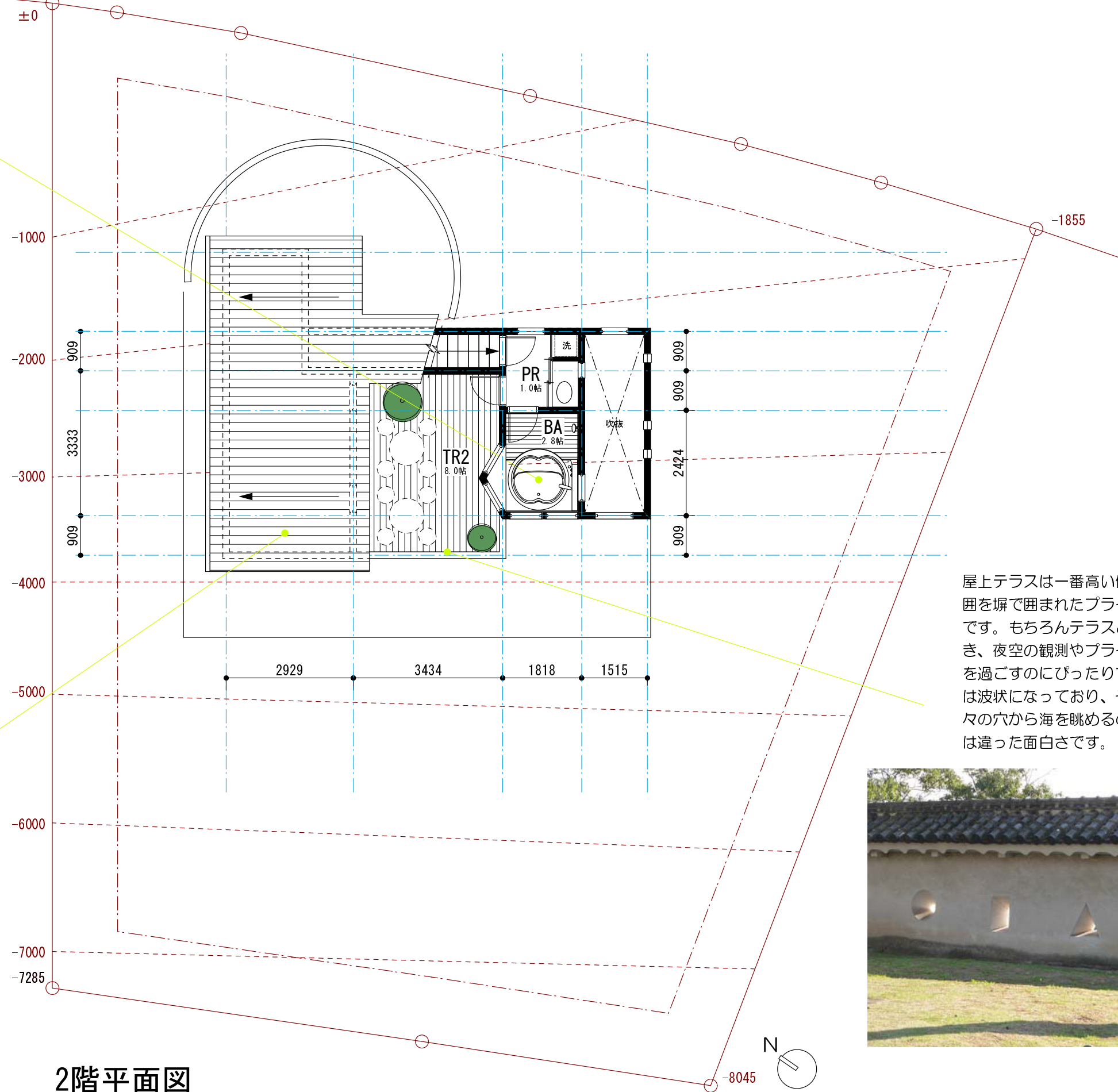
■お風呂

壮大な景色に囲まれた風呂場は、絶好の場所に設置されています。窓からは、日の出日の入りを思う存分楽しんでいただけます。屋上でのテラスパーティーをされるときは、窓を開放して露天風呂、またはプールとしてもご使用いただけます。風呂場は壁、床ともに木をふんだんに使い、自然な雰囲気を造り出しました。



■瓦屋根

屋根は、建物と空を結び、重要な架け橋です。ソフトで自然な瓦を使用し、柔らかく、温かみのある地中海の別荘をイメージしたデザインです。



■屋上テラス

屋上テラスは一番高い位置にある、周囲を塀で囲まれたプライベートテラスです。もちろんテラスとしても使用でき、夜空の観測やプライベートな時間を過ごすのにぴったりです。海側の壁は波状になっており、そこにあいた数々の穴から海を眺めるのも、また他とは違った面白さです。



姫路城



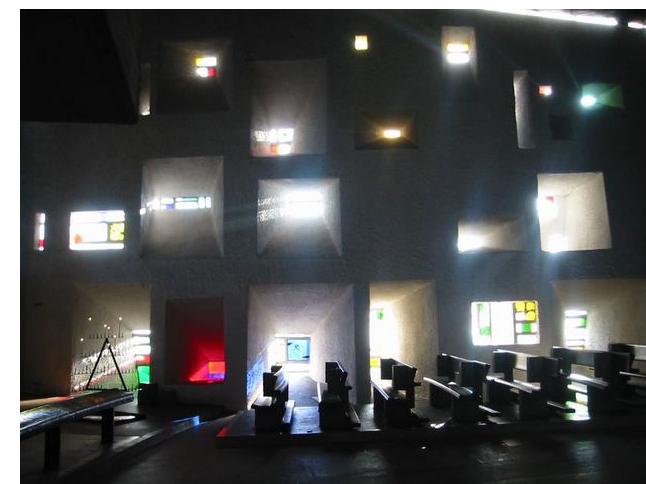
西立面図

SC= 1:100



東立面図

SC= 1:100



フランス・ロンシャン Le Corbusierの教会堂

■ 展覧会の絵
さまざまに風景を切り取るピクチャーウィンドウがあります。オーシャンビューをわしづかみにする大きな窓から、ちょっとしたひとときに海を意識できるような小さな窓まで、それぞれの窓からいろんな思いが膨らんできそうです。

晴海が丘・S邸別荘計画

立面図

13.07.15

SK4



北立面図

SC= 1:100

AA
060707